

令和二年度

運営に関する計画

校 訓

明るく 正しく 根気よく

学校教育目標

目標に向かって、協力し、
やりぬく子どもを育てる。

大阪市立豊崎東小学校

令和2年4月

大阪市立豊崎東小学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、「目標に向かって、協力し、やりぬく子どもを育てる」という教育目標としている。子どもたちは非常に素直であり、何事においても熱心に取り組むことができる。学校のきまりも大部分の児童がしっかりと守っており、登校時刻に遅れる児童もほとんどいない。休み時間にはチャイムがなる前に教室に戻っているなど、きまりを守り、行動することができている。

また、いじめはほとんどなく、認知したものは解消するように努めている。児童アンケートにおいても「学校へ来るのが、楽しい」という質問に対する肯定的な回答が 85 % 以上である。同じく保護者アンケートにおいても、「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」という質問に対する肯定的な回答も 9 割近い。これらのアンケート結果より、保護者も子どもも、学校に対して一定の安心感・安全感を感じていると考えられる。

ただし、遅刻などが全くないわけではなく、また、遅刻などをする児童が固定されてきているという課題がある。

学力面に関して、基礎学力の向上のために、習熟度別・少人数学習に計画的に取り組んでいる。また、教員の指導力向上のために、授業研究会を計画的に行い、毎年、全員が研究授業に取り組み、討議を重ねている。全国学力調査の結果はだいたい全国平均近くであるが、二極化が見られる。

体力面に関して、子どもたちは休み時間になると運動場に出て、元気に遊んでいる。これまで、新体力テストを年に 2 回行い、子どもたちの課題を確認し、体力を伸ばすよう取り組んできた。また、なわとび週間やかけ足週間を設けて実践に取り組んできた。その結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、全国平均近くであるが、種目によるばらつきが見られる。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- ・ 学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 % にする。
- ・ 保護者アンケートにおいて、「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に出かけたりして地域に根付いた学習を行っている」の 3 つの項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を 85 % 以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・ 全国学力・学習状況調査における国語 A・B、算数 A・B の平均を全国平均程度にする。
- ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の平均を全国平均程度にする。
- ・ 児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- ・ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ・ 保護者アンケートにおいて、「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に出かけたりして地域に根付いた学習を行っている」の3つの項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・ 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- ・ 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ・ 新体力テストにおいて、全学年、立ち幅跳びの記録の平均を、前年度の平均より5cm向上させる。

学校園の年度目標

- ・ 児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

大阪市立豊崎東小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
------	---------------	--------------

年 度 目 標	達成 状況
<p>【子供が安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。 ・年度の小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 ・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童の割合を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートにおいて、「学校は、学校だよりや学年だより等を通して、学校や子どもの様子がわかるよう工夫している」「学校は、学習参観や学校行事等、保護者や地域の方が学校に足を運ぶ機会を多く設けている」「学校は、地域の方をゲストティーチャーに招いたり、地域に根付いた学習を行っている」の3つの項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える保護者の割合を85%以上にする。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>自らの良さに気づき、自他の違いを認め合う心を育てる。</p> <p>指標 道徳科や学級活動の時間などで児童同士がお互いに一人一人の良さを理解できる場面を月1回以上設ける。</p> <p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 場面に応じたあいさつの指導を行う。</p> <p>指標 年2回、あいさつ強調週間を設ける。</p> <p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>地域へ積極的に出かけたり、地域の方と交流したりするなど、実際の体験を通して五感を使った学習を行う。</p> <p>指標 全学年、校外での活動や地域との交流を年に4回以上行う。</p>	進捗 状況

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次 年 度 へ の 改 善 点

大阪市立豊崎東小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
------	---------------	--------------

年 度 目 標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ・ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ・ 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ・ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童アンケートにおける「学校へ来るのが、楽しい」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。 ・ 新体力テストにおいて、全学年、立ち幅跳びの記録の平均を、前年度の平均より5cm向上させる。 ・ 「良い姿勢をたもつことができた」の項目について、「できた(ややできた)」と答える児童の割合を80%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>学力を向上させる授業力を身に付ける。</p>	
<p>指標 対話を通して形や色、イメージについて思考が深まる活動を取り入れた研究授業を行う。</p>	
<p>取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>体験的な学習を行ったり、文化に触れたりする機会を作る。</p>	
<p>指標 全学年、体験的な学習や文化に触れる活動を年に2回以上行う。</p>	
<p>取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 子どもたちが行う様々な運動の量や質を高める。</p>	
<p>指標 体育の時間で、立ち幅跳びの基本の運動を取り入れる。</p>	
<p>取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 日常的に良い姿勢を保つように取り組む。</p>	
<p>指標 学期に1回、姿勢強調週間を行い、自分の姿勢をチェックする。</p>	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 栽培体験を通じて食育に取り組む。</p>	

指標 全学年1回以上、野菜の収穫体験を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点